

# 図画工作科教育研究部

【令和2年6月現在】

主任 坂本 卓也

部員 外崎 美佳 八嶋 孝幸

## 目指す児童の姿

共に作りながら，自分らしくやり切る児童

図画工作科における納得解を導く姿を，「共に作りながら，自分らしくやり切る児童」と設定し，研究に当たる。

### I 目指す児童の姿について

#### 1 その具体として

##### ア 「共に作りながら」とは

自分たちの活動や作品について，視点をもった話し合いを基に，つくったり表したりすることや，教師の意図的な配置による活動する場所や材料・用具等を共有しながらつくることである。友人と関わりながらつくることにより，どのような形や色にするか，それを実現するために用具や表し方の工夫について考える力や一度つくったものを改めて見直し，新たなものをつくりだそうとする力等が働き，児童の新しい発想や構想につながる。

##### イ 「自分らしくやり切る」とは

自分の思いを基に活動を充実させ，自分が納得するまでつくったり，活動の終わりを自分できめたりすることである。具体的には，児童が題材のめあてや材料等から，それまでの経験を生かして発想や構想をしたり材料や用具を活用したりして，自分なりに納得のいく活動や作品ができたという実感や満足感を得て活動を終えることである。

### II これまでの成果と課題

本研究部では，研究主題に迫るために，①視点を明確にした言語活動の設定と②児童の発想や構想についての多様性を踏まえた題材の設定に取り組んできた。成果として，①の視点を明確にした発問や板書の工夫により，児童の思考が深まったことが挙げられる。同じ視点でお互いの発想や構想について交流することで，より自分の表したいことや表し方について深く考えて表す姿が，活動の様子や図工ノートから見取ることができた。また，②の材料や用具の種類や数，場の設定の工夫では，一つの材料や方法だけではなく色々なやり方を試してみたり，どのように表すかを考える際に，自然とお互いの作品を見合って話をしたりしながら自分の活動に生かしていく姿が見られた。

課題としては，言語活動の焦点化が挙げられる。教師が設定した話し合いの視点の数や内容が児童の思考に沿っていなかったり，児童に必要感のないタイミングで言語活動を行ったりする実践も見られた。活動するための時間を十分に確保するためにも，題材で育成したい資質・能力を基に話し合いの視点や題材の中での話し合う場面をより精選していく必要がある。

### III 研究内容について

目指す児童の姿に迫るために，二年次は研究内容として以下の二点に取り組み，実践的に明らかにしていく。

#### 1 視点を明確にした適正な場面での言語活動の設定

言語活動を設定する際，育成したい資質・能力を基に，視点を明確にし，題材全体のどこで行うのが効果的なのかを考え設定する。例えば，発想や構想を重視する題材では，題材の前半の段階で児童の表したいことが広がるようにそれぞれの思いを交流する場面を設けるようにしたり，技能を重視する題材では，児童が様々な方法を試した後に見つけた方法を共有できるよう設定したりする。また，そこで共

有された発想や構想，表し方などを板書に反映させ，児童が活動中に話し合ったことを振り返ったり，自分の活動に生かしたりできるよう工夫する。

## 2 児童の発想や構想，技能についての多様性を踏まえた教材と場の設定

題材設定の際，題材全体や一時間で育成を図る資質・能力を図（図1）に表し明確にする。その図を踏まえ，以下の二つの工夫を取り上げる。

一つ目は，材料や用具の種類や数，活動する場所等について工夫をする。材料や用具の種類や数については，題材で育成したい資質・能力を踏まえ，つくっている途中で考えが変わってもつくり変えたり他の材料を試したりすることができるように種類や量にも配慮する。用具については，表したいことに合わせて適当な用具を選べるようにしたりすることや使い方について提示したりする。

活動する場については，児童が活動中もお互いの作品を自然と目にしたり，作品について話をしたりできるような教室の動線を考え設定する。例えば，材料コーナーの位置を工夫し，児童が必要な材料を取りに行く時になるべく多くの児童の活動を目にするよう設定する。また，机の向きや，製作途中の作品の見え方を試す場所など，教室全体の意図的な配置により児童相互の交流を促すようにする。

二つ目は，児童が各題材で使用した材料や用具をシートにまとめ，積み重ねることにより，教師が児童の経験を把握することで次の題材設定に生かせるようにする。

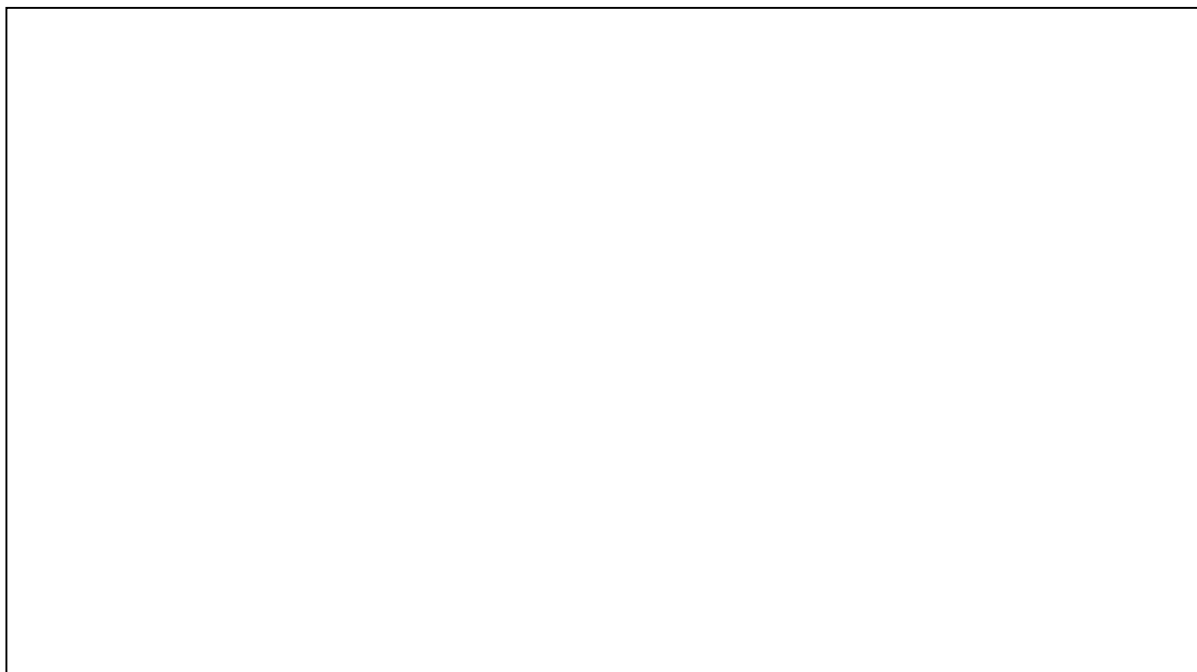


図1

## IV 研究・検証方法について

上記の実践は，児童の行為や発言，作品，振り返りカード，また記録した映像等を基に，児童一人一人の変容を捉え，検証を行う。

### 【参考文献】

岡田京子「学習指導要領実施状況調査・図画工作科の分析と改善点」文部科学省『初等教育資料』2015, 10  
岡田京子『成長する授業 子供と教師をつなぐ図画工作』東洋館出版社，2017, 1